

令和3年度(2021年度) 公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告書

地球温暖化防止等を含む環境への負荷を少なくする循環型社会の構築に向け、人々が環境に配慮したライフスタイルを実践し、また環境保全を定着・促進するため、市民の参加のもとに次の事業を計画しました。しかし本年度を通して新型コロナウイルス禍の状況は依然収束には遠く、大阪府全域に対するのべ約120日間にわたる2回の緊急事態宣言発出期間中、第1回目の発出となる4月25日(日)から6月20(日)までの2か月弱の間は、吹田市資源リサイクルセンターは休館となりました。それ以降は約90日間にわたる2回のまん延防止重点措置の発出期間も開館し、行政(吹田市)の指示に基づき感染拡大防止のため、3密回避対策の徹底に努めて以下の通り事業を実施しました。

(1) 啓発・普及活動に関する事業

ア. 市民工房の運営(受託事業)

各市民工房において、来館者が楽しみながらリユース・リサイクルできるように、修理・再生・リフォームの助言・指導を行い、各工房で再生した成果品を展示しました。開館時は消毒はもとより施設内で密集が予想される市民工房には飛沫防止用透明スクリーンの設置によるソーシャルディスタンスの確保等、コロナ3密回避対策を徹底し実施しました。

工 房 名	対象品	見学者数	実技受講者数 (再掲)	成果品展示数
市民工房1	衣類	1,490名	1,413名	65点
市民工房2	紙パック	697名	683名	67点
市民工房4	自転車	316名	239名	94点
市民工房6	家具類	1,290名	998名	240点
合 計		3,793名	3,333名	466点
合 計 (前年度)		3,122名	2,686名	388点

(注)市民工房3ではガラス工芸、市民工房5では陶芸の実践教室を開催しました。

イ. 視察・見学者の対応(受託事業)

開館時は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回の見学人数の制限や中央操作室の入室見合わせ等、3密回避に努め実施しました。

区 分	団 体 数	人 数	前 年 度	
			団 体 数	人 数
小～大学生	27団体	1,840名	9団体	920名
市民団体	5団体	78名	3団体	22名
行政	2団体	15名	0団体	0名
民間企業	3団体	15名	0団体	0名
海外	0団体	0名	0団体	0名
計	37団体	1,948名	12団体	942名

ウ. 見学ツアーの開催(受託事業)

環境啓発として環境学習施設を見学する親子見学ツアーは、当初8月5日(木)に実施予定でしたが、府外へのバスツアーであること、また3密回避が困難であること等から、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点に照らして、昨年度に引続き本年度も実施を見送りました。

エ. 吹田市が主催等するイベントへの参画(受託事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に引き続きプラザが参画する吹田市の主催、後援するリアル事業は本期間も中止されましたが、第4四半期にWEBで開催した「すいた環境教育フェスタ2022」には事前の運営委員会から参加しました。

オ. 脱温暖化啓発に関する事業(受託事業)

① 原始力発電コーナー

自力で自転車を漕ぎ、イルミネーションを点灯させたり電車の模型を走らせる自家発電体験を提供する原始力発電コーナー及び温暖化防止に関連したエコ人間すごろくは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は撤去しました。

② 環境啓発動画コンテスト

高校生を含む応募作品数が年々増加し、広く環境啓発につながるコンテストとして定着してきました。

実施日	内 容	対象者	応募人数及び作品数	
			本年度	前年度
応募期間 8月1日(土)～ 10月31日(土)	地球温暖化防止、食品ロス、 海洋汚染をテーマとする動画 を募集し、HP上での人気投票 と専門家及び市民研究員、財 団執行役員による審査を実施	市民	応募作品数 42作品	応募作品数 34作品
投票期間 11月16日(火)～ 12月15日(水)				
応募作品審査 12月24日(金)	専門家意見を参考に、応 募作品の審査を実施		優秀賞 2作品 奨励賞 2作品	優秀賞 3作品 奨励賞 2作品
表彰 1月30日(日)	プラザ講義室1にてリモート による表彰式を実施			

カ. 展示等に関する事業(受託・自主事業)

① 展示コーナーの常設(受託事業)

市民工房で再生した成果品や市民研究所の環境出前講座などで使用する教材の一部をホワイエに常設展示しました。またB棟5階展示室において「すいたのごみの歴史展」の他、SDGsの17のゴールを日本語の他、英語、中国語、韓国語に翻訳したものを常設展示しました。

② あげます・もらいますコーナーの利用状況(受託事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のための閉館期間を除き、資源循環を啓発するあげます・もらいます事業の促進に努めました。

品 目	持ち込み品	持ち帰り品	
衣 類	9,190点	7,753点	
食 器	7,921点	4,350点	
合 計	17,111点	12,103点	
件 数	624件	1,496件	
前 年 度	数 量	12,252点	9,998点
	件 数	430件	1,267件

③ 再生成果品等の販売(自主事業)

再生成果品及びセカンド品を常時販売しました。また、家具は9月に実施した抽選販売で応募のなかったものを随時展示販売し、自転車は毎月の抽選で販売しました。

工房名	対象品	成果品販売数	販売時期	販売品目	内容
市民工房1	衣類	28点	常時	衣類の リフォーム品 紙すき製品 木工小物	市民工房において再生した成果品を販売
市民工房2	紙パック	17点			
市民工房4	自転車	115点	毎月	自転車	毎月1回の抽選販売。売れ残った自転車は随時販売
市民工房6	家具類	177点	9月 3月	家具	家具は抽選販売。売れ残った家具は随時販売
合 計		337点			
合 計 (前年度)		356点			

対象品	販売数	前年度	販売時期	販売品目	内容
セカンド品 (未使用の市民提供品)	1,254点	1,355点	常時	セカンド品	市民から提供を受けた未使用の衣類・食器等を販売。

らっくdeフリマ 出店期間	来室者数	出店数	出店形式	出店内容
第1期 R3. 4～R3. 8	1,419名	52店舗	4段ラック 3段ラック 2段ラック ハンガーラック	市民の方に場所を提供し、使わなくなったものなどリメイク・リユース品を中心に展示し、低額で販売
第2期 R3. 9～R3.10	1,129名	48店舗		
第3期 R3. 11～R4. 1	1,395名	51店舗		
第4期 R4. 1～R4. 3	1,059名	50店舗		
合 計	5,002名	201店舗		
合 計 (前年度)	2,646名	100店舗		

キ. 市民・企業参画事業(受託・自主事業)

① 万博ごみゼロウォーク(受託事業)

市民、事業者、行政、市民研究員、プラザが協働して万博記念公園及びその周辺をウォーキングしながら散在ごみを回収・調査する万博ごみゼロウォークは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度も昨年度に引続き中止しました。

② くるくるアースフェスタ(受託事業)

地球温暖化防止等、環境問題を広く市民に啓発する取り組みであるくるくるアースフェスタは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため本年度も昨年度に引続き中止しました。

ク. 実践教室の開催(自主事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館期間を除き、市民が楽しみながら資源の再使用や再生利用を体験できるように以下の実践教室を実施しました。

教室名	1教室当 開催日数	実施回数	受講者数	延受講者数	前 年 度			
					実施回数	受講者数	延受講者数	
(注1) 布	布のリメイク1日	1日	4回	28名	28名	3回	18名	18名
	布こもの	1日	2回	7名	7名	1回	1名	1名

(注2)

ガラス工芸	バーナーワーク初心者	1日	118回	57名	57名	74回	34名	34名
	バーナーワーク自由3回	3日		5名	15名		10名	30名
	フュージングアクセサリー	1日		103名	103名		43名	43名
	フュージングオブジェ	1日	70回	61名	61名	42回	12名	12名
	サンドブラスト	1日		24名	24名		16名	16名
	3Dペイント	1日		16名	16名		1名	1名
陶芸	陶芸3回	3日	8回	19名	57名	6回	10名	30名
	陶芸2回	2日	8回	12名	24名	6回	1名	2名
	陶芸形成	1日	5回	41名	41名			
	夏休み陶芸2回	2日	2回	19名	38名	2回	18名	36名
	夏休み陶芸絵付	1日	2回	20名	20名			
木工	木工1日	1日	3回	11名	11名	2回	10名	10名
	夏休みこども木工	1日	4回	68名	68名	4回	44名	44名
手作りおもちゃ	オイル万華鏡	1日	2回	19名	19名	2回	20名	20名
アイシルトパー	クレイシルバー3回	3日	10回	19名	57名	6回	6名	18名
	クレイシルバー初心者	1日	10回	3名	3名	6回	3名	3名
クラフト	革小物	1日	22回	24名	24名	6回	7名	7名
その他	ミニソーラーカー工作	1日				1回	78名	78名
	廃ダンボール工作	1日	4回	61名	61名	1回	18名	18名
	尾舞鳥工作	1日	1回	10名	10名			
施設見学後体験	布体験	1日	4回	41名	41名			
	木工体験	1日	3回	29名	29名			
	紙すき体験	1日	6回	101名	101名			
くるくる体験	布体験	1日	7回	54名	54名	6回	57名	57名
	陶芸体験(絵付け)	1日	7回	133名	133名	6回	138名	138名
	ガラス工芸体験	1日	5回	143名	143名	6回	171名	171名
	木工体験	1日	7回	88名	88名	6回	80名	80名
	レザークラフト体験	1日	2回	30名	30名			
合計			316回	1,246名	1,363名	186回	796名	867名

(注1) 正式な教室名称は「布のリメイク」となります。

(注2) ガラス工芸は同日の排他的選択実施のため、実施回数は1つにまとめて表記しています。

ケ. イベントの開催(自主事業)

① フェスタ

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、不特定多数の参加者によるフリーマーケット開催等での3密回避が困難な状況を考慮して、本年度のフェスタは全て開催中止としました。

事業名	実施日	内 容	参加者数(注)	前年度参加者数
くるくる 春がきたフェスタ	(当初予定日) 4月 11日(日)	フリーマーケット、各種くるくる体験(リメイク、リサイクル体験)、影絵、絵本の読み聞かせ、ソーラーカー乗車体験を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)とソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、によるくるくるワークショップとして開催しました。	98名	-
くるくるキッズ フェスタ	(当初予定日) 5月2日(日)	ゴールデンウィーク期間に子どもを中心に地球環境保全や3Rの輪を広げるために、フリーマーケット、ソーラーカー乗車体験、また広場を利用した縁日コーナーの開催、地場野菜の販売を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。	-	-
千里 エコフェスタ	(当初予定日) 6月20日(日)	フリーマーケット、ソーラーカー乗車体験、各種くるくる体験、SDGs落語、学生によるブース、ライブステージ等の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。また、同理由により同日開催を予定していた環境問題講演会も9月19日(日)に延期しました。	-	-
くるくる 夏フェスタ	(当初予定日) 8月15日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるとともに、親子で参加しやすい夏休みを利用してフリーマーケットや特別なイベント、各種くるくる体験、ソーラーカー乗車体験、学生によるブース、企業との協働により環境に係る工作体験等を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止し、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)とソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、によるくるくるワークショップとして開催しました。	164名	200名
くるくる 秋フェスタ	(当初予定日) 9月19日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるために、フリーマーケットや各種くるくる体験、ソーラーカー乗車体験、家具市開催による再生家具のオークションを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止し、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)とソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、によるくるくるワークショップとして開催しました。	75名	166名
くるくる ハロウィン	(当初予定日) 10月17日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるために、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、各種くるくる体験、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、GECSの紙パックランタン作りによるくるくるワークショップとして開催しました。 尚、子どもを対象とするハロウィンのお菓子のすくい取りは使用のお玉杓子の消毒の徹底に努めて実施しました。	112名	158名

くるコレ フェスタ	(当初予定日) 11月21日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるために、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、各種くるくる体験、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、によるくるくるワークショップとして開催しました。 尚、くるくるコレクションについては3密回避に注意を払い、単独で表彰式を実施しました。	184名	184名
くるくる クリスマス	(当初予定日) 12月19日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるために、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、各種くるくる体験、パナソニック社のあかりのエコ(実験コーナー)、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、GECSのトイレトペーパー芯を使った獅子舞作りによるくるくるワークショップとして開催しました。	141名	222名
くるくる 春フェスタ	(当初予定日) 3月14日(日)	地球環境保全と3Rの輪を広げるために、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、3密回避が難しいイベントの開催は中止し、各種くるくる体験、パナソニックLED親子あかり工作教室(あかりのエコ講義及びLED家ライト工作)、ソーラーカー「そらくる号」乗車体験、おもちゃ病院、クラフトマンエッセンスの廃段ボール工作、尾舞鳥工作によるくるくるワークショップとして開催しました。	109名	141名
合 計			883名	1,071名

(注) 参加者数は当日の来館者実数を記載。

② おもちゃ病院

新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館期間にかかる5月、6月を除きおもちゃ病院を閉院し、市民が持ち込んだ壊れたおもちゃを、おもちゃドクターが即日又は入院修理し、リユースの啓発活動を行いました。

実 施 日		修 理 件 数	前年度修理件数
第1回	4月 11日(日)	5件	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
第2回	(当初予定日) 5月2日(日)	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
第3回	(当初予定日) 6月20日(日)	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
第4回	7月18日(日)	16件	31件
第5回	8月15日(日)	11件	22件
第6回	9月19日(日)	8件	7件
第7回	10月18日(日)	12件	8件
第8回	11月15日(日)	9件	4件

第9回	12月13日(日)	14件	12件
第10回	1月17日(日)	16件	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
第11回	2月21日(日)	13件	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
第12回	3月14日(日)	14件	7件
合 計		118件	91件

コ. リユース食器貸出に関する事業(自主事業)

		件 数	食 器 類	箸 等	前 年 度		
					件 数	食 器 類	箸 等
貸 出	吹田市内	0件	0点	0点	0件	0点	0点
	吹田市外	3件	775点	500点	0件	0点	0点
合 計		3件	775点	500点	0件	0点	0点
洗浄作業受託(注)		(2社)	5,844点	0点			
総 計			6,619点	500点			

(注)他の法人・団体が有するリユース食器の洗浄作業を受託するもので、件数欄には依頼した法人・団体数を記載しています。

サ. 会員(プラザメイト)に関する事業(自主事業)

ごみ問題や地球温暖化などの環境問題をより多くの人々に理解してもらい、つながりを広げてゆくため会員(プラザメイト)を募集しました。会員には、財団が発行する情報紙や、各種催しの案内を送付しました。

(2) 調査研究・情報提供に関する事業

ア. 研究報告書の発行に関する事業(受託事業)

令和2年度の市民研究所各プロジェクトの研究成果等を研究報告書としてまとめ、7月に発行しました。

イ. 市民研究員による調査・研究及び実践活動(自主事業)

市民研究員がテーマごとにプロジェクトチームを組織し、生活者の視点で調査・研究を行うとともに、啓発・普及のための実践活動の実施を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度も引き続き制限された中での活動を行いました。

プロジェクト名	活 動 内 容	開催数
エコ体験	<p>小学生及び一般市民への環境問題啓発方法の研究を行う。 ～新しい教材開発として「プラスチックごみの話」</p> <p>(上半期) 新市民研究員への研修も兼ねて、作業工程や役割分担を定例会で確認。また今後の進め方についても協議した。併せて使用器具の整備等も行った。</p> <p>(下半期) 来年度に「紙すき体験と環境」アクションチームとして再編成するため、紙すきとエコゲームにしぼった環境出前講座の準備に取りかかった。また新たなメンバーに実技研修を行いチームの活性化に努めた。</p>	14回

<p>手作りおもちゃと環境</p>	<p>廃品を再利用した手作りおもちゃの指導を通して、ごみの減量化と環境問題の啓発・意識の向上を図る。</p> <p>(上半期) くるくるワークショップでのおもちゃ作りを3回、施設見学後の体験活動を1回実施。ごみを減らす意識を持ってもらえるように導入時の説明内容の充実に努めた。またチームの情報発信のため動画作成の学習会に参加し準備を進めた。</p> <p>(下半期) 「手作りおもちゃと環境」アクションチームとして、活動を支える有効な人員配置やメンバーに対する実技研修に努めた。</p>	<p>31回</p>
<p>市民とお店をエコでつなぐ</p>	<p>「食品ロス削減」は社会の大きな問題でもあり引き続き研究し、新テーマとして「プラスチックごみ」(食品トレー)を取り上げる。</p> <p>(上半期) 施設見学後の体験活動を1回実施。また、定例会では出前講座の動画作りやリモート授業にむけ、具体的な方法や内容を検討した。動画作成については学習会も実施し、具体的な作業を開始した。また、プラスチックごみに対する取組みを調査するため、他市の見学を計画した。</p> <p>(下半期) プラスチックごみの削減について、3年計画として、まず資料収集を実施。環境出前講座については、食品ロスすごろくの改訂版を作成。家庭から出るプラスチックごみを各メンバーが持ち寄り、分析調査した。プラスチックごみの視覚化による、環境問題啓発の手法を検討。また、環境出前講座「ふろしきの包み方」の動画も作成に取りかかった。</p>	<p>22回</p>
<p>吹田ごみゼロシステム研究</p>	<p>平成7年発行の「吹田ごみ物語」改訂版を作成し発行。その後、行政と情報交換し「捨てるをなくす」ごみゼロに向けての仕組み(システム)を研究。</p> <p>(上半期) 「吹田ごみ物語」のまとめ冊子について、内容と作業手順について協議した。また各個人の研究テーマについて、主担研究員と意見交換を行い深めた。これまでにアップしたブログ集を「吹田ごみペディア」と題して、印刷製本し関係者に配付した。また、毎月の定例会を対面型とリモート型を併用して実施し、各メンバーの取組みの進捗状況を報告しあい、情報交流に努めた。</p> <p>(下半期) チーム内でまとめたプラスチック関連についての質問をZoom会議で環境政策室に回答いただいた。「市民とお店PT」もアドバイザーとして同席。次年度も年間2回環境政策室との会議を設定し、提案型の会議として有効に活用する。</p>	<p>25回</p>
<p>身近な環境を調べよう</p>	<p>吹田市及びその周辺地区の河川や池の環境を調べ、特にごみ減量のための啓発活動を行う。</p> <p>(上半期) 昨年度の調査の反省をふまえ、調査項目を見直し、機材等も整備し春の糸田川フィールドワークを実施。定例会では、樹木の基礎マップを作成し四季の変化を調査することとした。8月のフィールドワークでは、専門家を招き、特に植物について貴重な話を聞いた。中でも外来生物について、今後も注目し調査を進める。また、動画作成については学習会に参加し、シナリオ作りから開始。</p> <p>(下半期) 連携を予定していた学校の状況を把握し、実施要項を確認した。また、糸田川沿いのフィールドワークを実施し、環境調査の試行として、マップの確認、チェックシートの記入などを実施。2月に主担研究員に同行してもらい、現地調査を敢行。新メンバーも迎えて令和4年度はチーム発足3年目になるので、糸田川調査マップの完成や動画作成に向けて協議を進行中である。</p>	<p>20回</p>

SDGs啓発プログラム作成	SDGs啓発のためのプログラムを作成する。	17回
	(上半期) SDGs啓発のため、まず情報共有の方法を考え、項目の選択や運営、活用について検討した。また9月に千里第三小学校での授業を実施するにあたり、授業の内容を定例会で検討し協議し準備を進めてきたが、学校の事情で中止になった。 (下半期) 定例会では、今後の方向性を話し合いゲーム形式での啓発を進めるために、積極的に研修会などに参加し情報収集することを決定した。 次年度から、「SDGs啓発プロジェクトチーム」と改名して再スタートの協議を開始。特に、ぐるくるワークショップや環境出前講座において、子供たちにわかりやすくSDGsを理解してもらえる内容の出前講座の準備に取りかかった。	
合 計		129回
合 計 (前 年 度)		127回

ぐるくるつながり広場	(上半期) 9月4日(土)、代表者会の後にSDGs啓発プログラム作成プロジェクトチームの活動報告を実施。SDGs説明のコンテンツや小学校で予定していた授業を紹介。	3回
	(下半期) 新規PTの「SDGs啓発プログラム作成PT」、「身近な環境をしらべようPT」の発表、報告及び「吹田ごみ物語改訂版編集PT」の成果発表及びSDGsカードゲームの体験を実施。	(3回)

()内は前年度

ウ. 機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行(自主事業)

市民研究員の調査・研究、実践活動を中心とした機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行及びホームページへの掲載を行いました。

号 数	No.	発行部数	配 布 先
2021年5月号	303号	各850部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
2021年7月号	304号		
2021年9月号	305号		
2021年11月号	306号		
2022年1月号	307号		
2022年3月号	308号		

エ. 情報紙「ぐるくるプラザ」の発行(自主事業)

一般市民で構成したスタッフが情報収集し編集した、環境問題に関する身近で役立つ情報を中心とした情報紙「ぐるくるプラザ」を次のとおり発行し、ホームページにも掲載しました。

号数	発行月	発行部数	配布先
89号	7月	各1,500部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
90号	11月		
91号	3月		

オ. 図書・雑誌等の閲覧コーナーの常設・貸し出し及びホームページの公開(自主事業)

図書・雑誌などの閲覧コーナーについては、新型コロナウイルス禍による休館時を除き、開館時に貸し出しを行いました。また財団ホームページの公開を行いました。

(3) 講演・講座の開催及び環境学習の支援に関する事業

ア. 講演会の開催(受託事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第1四半期の6月20日に予定していた講演会は9月19日に実施しました。

事業名	実施日	内容	対象者	参加者数	会場
環境問題講演会	9月19日(日)	(テーマ) 冷蔵庫収納家の福田かずみ氏による「SDGsと食品ロスを出さない冷蔵庫収納」の講演会	一般市民	27名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[6名]	
計		1回	(注)	27名	(-)

(注) 第2四半期報告にはスタッフも含めていましたが、通期の事業報告には含めない ()内は前年度ものとします。

イ. 入門講座・研修講座の開催(受託・自主事業)

(受託事業)

事業名	実施日	内容	対象者	参加者数	会場
くるくるキッズ環境スクール	7月18日(日)	開講式、工房体験(サンドブラスト)、紙バックを使ったおもちゃ作り	受講者	12名	プラザ講義室1 プラザ市民工房3 プラザ講義室2
			[スタッフ]	[6名]	
	(当初予定日) 8月5日(木)	親子見学バスツアー	受講者	中止	(当初予定) 伊丹市昆虫館、 兵庫県立人と自然の博物館
	[スタッフ]				
8月18日(水)	工房体験(木工、紙すき)	受講者	13名	プラザ市民工房2 プラザB棟ホール	
		[スタッフ]	[5名]		
11月13日(土)	ミニ万博ごみゼロウォーク(プラザからパナソニックスタジアム周辺までの区間のごみ拾い)、及び閉校式	受講者	8名	万博公園周辺 プラザB棟ホール	
		[スタッフ]	[3名]		
計		3回	のべ 受講者数	33名	(-)

(注) 参加者数には保護者数も含む ()内は前年度

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は期間を短縮し9月に開校したくるくる環境スクールは6回の連続講座として実施し、市民研究員研修講座は1回開催しました。

(自主事業)

事業名	実施日	内 容	対象者	参加者数	会 場
くるくる環境スクール	7月10日(土)	開講式と木工体験	受講者	16名	プラザ講義室2 プラザB棟ホール
			[スタッフ]	[5名]	
	8月25日(水)	金子泰純主担研究員 特別講義「ごみとつきあう」	受講者	15名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[6名]	
	9月19日(日)	環境問題講演会聴講「SDGsと食品ロスを出さない冷蔵庫収納」	受講者	14名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[6名]	
	9月25日(土)	兵庫県立一庫公園及び川西市黒川地区の散策と自然観察	受講者	14名	川西市黒川地区
[スタッフ]			[5名]		
10月3日(日)	「市民研究所プロジェクト体験1」 柚山事務局長による、市民研究所のあゆみについての講義と、PT体験(3つのPTの活動紹介)	受講者	14名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[14名]		
10月24日(日)	「市民研究所プロジェクト体験2」 PT体験(3つのPTの活動紹介)とグループワークのディスカッション及び発表	受講者	13名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[10名]		
12月11日(土)	各PTと受講者による、環境問題とボランティア活動についてのグループ討議、及び閉校式	受講者	11名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[13名]		
計	7回	のべ 受講者数	97名	(6回 90名)	
市民研究員 研修講座	8月25日(水)	金子泰純主担研究員 特別講義「ごみとつきあう」	受講者	11名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[5名]	
	9月19日(日)	環境問題講演会聴講「SDGsと食品ロスを出さない冷蔵庫収納」	受講者	12名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[7名]	
11月20日(土)	神戸大学名誉教授で吹田自然観察会の武田義明氏による吹田の外来生物についての講義	受講者	12名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[3名]		
1月15日(土)	SDGs de 地方創生カードゲームの公認ファシリテーター川辺友之氏による「SDGsカードゲームで学ぼう」体験	受講者	16名	プラザ講義室2	
		[スタッフ]	[4名]		
計	4回	のべ 受講者数	51名	(1回 28名)	
合計	(注) 11回	のべ 受講者数	148名	(7回 118名)	

(注)8月25日(水)、9月19日(日)の特別講義と環境問題講演会は環境スクールと市民研究員研修講座の両方で実施回数に数える。ただし受講者数は二重に数えない。()内は前年度

ウ. 環境出前講座の実施(自主事業)

市民研究員による環境出前講座は「くるくるワークショップ」「施設見学後の体験」を交えて実施しました。また外部へ出向く講座としては、公民館での2件の実施を除き、小中学校の授業・クラブ活動、環境学習等を対象とした実施、支援は本年度は要請がなく実施しませんでした。

実施日	内容	対象者	参加者数	会場
4月11日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックを使ったおもちゃ作り (二連風車)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザB棟ホール
6月24日(木)	【施設見学後の体験】 ふるしきの活用	吹田第三小学 校4年生	6名	プラザB棟会議室
6月24日(木)	【施設見学後の体験】 紙パックを使ったおもちゃ作り (十字プロペラ)	吹田第三小学 校4年生	19名	プラザ講義室1
8月15日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックを使ったおもちゃ作り (水車ボート)	事前予約の 4才～小学生	14名	プラザB棟ホール
9月19日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックを使ったおもちゃ作り (サイコロキューブ)	事前予約の 4才～小学生	12名	プラザマルチホール
10月17日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックを使ったおもちゃ作り (マスカレードマスク)	事前予約の 4才～小学生	14名	プラザマルチホール
10月22日(金)	【施設見学後の体験】 紙パックを使ったおもちゃ作り (十字プロペラ)	高野台小学 校4年生	14名	プラザ講義室2
10月22日(金)	【施設見学後の体験】 ふるしきの包み方	高野台小学 校4年生	6名	プラザ講義室1
11月5日(金)	【施設見学後の体験】 紙パックを使ったおもちゃ作り (十字プロペラ)	江坂大池小学 校4年生	20名	プラザ講義室2
11月5日(金)	【施設見学後の体験】 ふるしきの活用	江坂大池小学 校4年生	9名	プラザ講義室1
11月21日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックを使ったおもちゃ作り (からくり屏風)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザマルチホール
11月25日(木)	【施設見学後の体験】 紙パックを使ったおもちゃ作り (十字プロペラ)	吹田第一小学 校 4年生	20名	プラザ講義室1
12月9日(木)	【施設見学後の体験】 紙パックを使ったおもちゃ作り (十字プロペラ)	岸部第一小学 校 4年生	17名	プラザ講義室1
12月19日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックを使ったおもちゃ作り (UFOぶんぶんゴマ)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザマルチホール

2月2日(水)	ふろしきの活用	はばたこう塾 塾生	11名	南千里中央公民館
2月16日(水)	ふろしきの活用	はばたこう塾 塾生	9名	南千里中央公民館
3月13日(日)	【くるくるワークショップ】 紙バックを使ったおもちゃ作り (ヘリコプター)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザマルチホール
合 計	17 回		231名	(5回 335名)

()内は前年度

エ. 環境学習発表会及び展示発表会の開催(自主事業)

教室からの発信「広がれ！環境の輪」と題して、小中学校等で取り組まれている環境学習の成果を発表、交流しあう発表会と展示発表会は新型コロナウイルス感染拡大防止のためWEB開催とし、片山小学校、東山田小学校、豊津第一小学校、大商学園高等学校の4校が参加しました。

オ. 職場体験・大学関係等の支援(自主事業)

吹田市立中学校・インターンシップ学生の受入れは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度も昨年度に引続き中止しました。

2. 収益事業等として、次の事業を実施しました。(収1)

吹田市との基本協定に基づく受託事業のうち、吹田市資源リサイクルセンターに関する管理運営業務を、次のとおり実施しました。

(1) 施設の管理運営

ア. 貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務(受託事業)

貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務を行いました。使用件数、利用者数及び使用料の徴収額は下記のとおりでした。

開館日数	使用件数	利用者数	使用料徴収額	前年度			
				開館日数	使用件数	利用者数	使用料徴収額
247日	454件	8,133名	424,100円	212日	512件	8,281名	272,350円

イ. 建物部分及び貸与備品等の管理業務(受託事業)

指定された建物部分及び貸与備品等の管理業務を行いました。

附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補則する重要な事項」がないので作成しません。